# ミニバラ八女津姫を広めるプロジェクト

## ～ ミニバラ八女津媛の会　～

（ミニバラ八女津媛の会）

# ミニバラ八女津媛の会について

- 設立目的

  八女の地名の起こりは、日本書紀に出て来る『八女津媛』。その名前がついた世界登録された日本オリジナルの花『八女津姫(ヤメツヒメ)』をより多くの方に知ってもらうため、八女に咲かせて町づくりをしたいと会を結成した。

- 団体構成員数　19名　及び

  八女農業高校システム園芸科草花専攻の学生・先生

- 設立年月日　　令和3年4月1日

（ミニバラ八女津媛の会）

# わたしたちの活動のきっかけ

2018年 NHK「趣味の園芸」でミニバラ「八女津姫」が紹介され、「ヤメツヒメ」と名付けられた花があることを知る。

1961年作出（伊丹バラ園）作出者辺春佳四郎
八女市のために生み出された花なのでは・・？

ぜひこのバラを八女市内に広めたいと考え、友人にプレゼントしたり、旧八女郡役所(2020年4月）・八女津媛神社（2020年5月)に植栽。年間を通して手入れするようになった。

（ミニバラ八女津媛の会）

# ミニバラ「八女津姫」プロフィール

| | |
|---|---|
| 作出国 | 日本 |
| 作出年 | 1961年【伊丹バラ園】 |
| 作出者 | 辺春佳四郎（へばるけいしろう） |
| ローマ字 | YAMETSUHIME |
| 系統 | ミニチュア |
| 花色 | ピンク、ホワイト、ローズピンク |
| 香径 | 微香 |
| 咲き方 | 四季咲き |
| 成長形態 | 木立性 |
| 樹高 | 20cm |
| 交配 | TomThumbX実生（seedling） |
| 別名 | 「レンゲローズ」 |

*花言葉*
*特別の功績　いつみても優美*

貝殻を重ねたような、小輪半八重咲き

（ミニバラ八女津媛の会）

# 令和５年度の植栽活動 １

八女津媛神社

4月16日

参加者　15名

苗　30ポット

花修景園芸家　毛利晶子氏

八女市社会福祉協議会立花

4月19日

参加者　4名

苗　10ポット

旧大内邸

5月17日

参加者　7名

苗　15ポット

（ミニバラ八女津媛の会）

# 令和5年度の植栽活動２

八女社会福祉協議会

10月４日　参加者4名
苗　20ポット

郡役所

7月19日　参加者4名
草取り、手入れ

＊伝統工芸館、
矢部村図書館、
共生の森、
観光案内所に
植栽、草取り、手入れ

# 年間通しての手入れ

花柄摘み、水やり、肥料、土入れ、株の切り戻し、さし芽、草取り　など

草取り作業
【旧大内邸】

寒さよけの為、藁をかぶせた
【八女津媛神社】

日当たりがいいのでよく咲きます
2020年植栽
【旧八女郡役所】 (撮影５月)

（ミニバラ八女津媛の会）

# 毛利先生の講話

植栽ボランティアを募集しての花壇づくりでは、講師を招き
「園芸についての講話」・「植栽のアドバイス」をしていただきました。

講師　花修景園芸家
毛利 晶子 氏
モットーは『安・楽・長』

八女津媛神社
4月16日、10月22日
参加者30名

（ミニバラ八女津媛の会）

# 八女農業高校との連携

八女農業高校 システム園芸科 草花専攻の学生さんが挿し芽をして繁殖に成功

繁殖されたミニバラ八女津姫
苗づくりについて語る先生

繁殖したつぼみ

（ミニバラ八女津媛の会）

# 活動の成果①

- パンフレットやホームページなどの広報活動を通じて問い合わせがあった。
  綺麗なバラの写真が好感を得る。
- 八女農業高校で八女津姫の苗の繁殖に協力していただき、繁殖に成功。
  その苗をいただいて植栽した。
- 毎月第一金曜日の定例会
  状況によっては作業に変えたりした。
- 八女津媛神社のミニバラ
  矢部村の方たちが当番で月１回の草取りをされており、ミニバラの花壇まわりもしていただいている。

（ミニバラ八女津媛の会）

# 活動の成果②

- サポート会員の方たち18名が、令和5年度より会員になって頂いた。

　会員28名となった。グループラインを開始。参加の出欠も早くわかり便利になった。

- 植栽場所20か所を見守る担当を決めて、月1回パトロールするようになった。花壇を自分たちで管理する方が出てきた。

- ボランティア募集にホームページ、広報八女、FM八女を活用した。ラジオを聞かれた長崎在住で矢部村出身の方から、感動のお電話があり、矢部の同級生、親せきへ「ミニバラ八女津姫」の活動を伝えて下さった。

（ミニバラ八女津媛の会）

# 活動の課題

- 日頃の手入れと管理
  植栽場所の責任者に、花の状況報告をしてもらう
- 植栽ボランティアの方々とのつながりを密にする
- ミニバラ八女津姫の作出者である辺春佳四郎氏についての研究を続ける

（ミニバラ八女津媛の会）

# 今後にむけて

- どの花壇も手入れを充実させ、花を多く咲かせ人々の癒しの場所にしたい。
- ミニバラ八女津姫が、八女市の花として、愛される花になりますように。